

平成29年（2017年）2月28日

長野県知事 阿部 守一 様

長野県救急医療機能評価委員会  
委員長 岡田 啓治

長野県救急医療機能評価委員会の現地調査について（報告）

平成29年1月24日（火）に実施した現地調査の結果について、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 調査対象施設

- （1）相澤病院
- （2）信州大学医学部附属病院

### 2 調査結果

別紙1・2のとおり

## 長野県救急医療機能評価委員会の現地調査の結果について

### 1 対象施設

相澤病院

### 2 調査結果

多数の救急患者を受け入れており救命救急センターとしての役割を十分果たしている。なお、今後一層の機能充実のため、以下の点で改善を要望する。

#### ① 救急搬入口及びERについて

軽症（ウォークイン）と重症（救急車搬送）の救急搬入口が同じ動線であり、ERも手狭である。多数の救急患者を受け入れていることから、動線やERのスペースの改善が望まれる。

#### ② 感染症対策について

救急患者がトリアージを受けるまでに他の患者と接触する動線となっているため、病院に入る前の感染症に対するトリアージの検討が必要である。

#### ③ 口頭指示について

救急患者を多く受け入れている中、現在の口頭指示については、医療安全上課題があるため、口頭指示について書式の作成や確認の方法など系統的に整備する必要がある。

#### ④ データ管理について

重症外傷などの正確な把握のためにデータを整理いただきたい。

## 長野県救急医療機能評価委員会の現地調査の結果について

### 1 対象施設

信州大学医学部附属病院

### 2 調査結果

高度救命救急センターとしての機能を十分果たしている。

なお、今後一層の機能充実のため、以下の点で改善を要望する。

#### ① 外傷データバンクについて

他の病院の参考になるよう、外傷データバンクの数字や症例を分析・公表するなど、県内の救急医療の向上のための取組を行っていただきたい。

#### ② データ管理について

救急車により搬入された患者の入院率の把握など、データを整理いただきたい。

#### ③ ERについて

煩雑な印象を受けており、必要な物品のみを整理いただきたい。

あわせて清潔でいつでも使えるリネンの整備が必要である。

#### ④ 衛生管理について

院内のICUにおいて、長袖白衣を着ての処置やケアはしないよう徹底していただきたい。

WHOの「手指衛生5つのタイミング」を順守するなど衛生管理を徹底していただきたい。